

令和4年度授業改善推進プラン【5年生】

教科	現状の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△文章を書くことに苦手意識があり、自分の考えや感想を文章で表現することが難しい児童がいる。</p> <p>△考えを一人でまとめることが難しい児童がいる。</p> <p>△漢字習得に対して苦手意識をもっている児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味ある話題から始め、自分なりの考えや思いを文章の中に組み入れられるような書き方の習慣をつける。 ・授業の振り返りとして、学んだことや考えたことを書き表す機会を設ける。 ・児童の実態に沿って、直しを丁寧にする、漢字練習やテストの量を調節するなど個別対応を図る。
社会	<p>△問題に対して意欲的に調べることができるが、人や生産者の思いまで考えることが難しい。</p> <p>△課題に対して調べる際に、グラフなどの資料のどの部分を見たらよいか分からず戸惑う児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー資料や動画を活用し、生産者等の思いに触れることができるようにする。 ・デジタル教科書を活用し、教室の大型モニターの画面に大きく提示する。グラフなどの資料では、大きく変化があったところ、他の物より特出しているところに視点をあてたり、小グループで話し合いを設けたりする。 ・資料から変化に気づき、疑問や関心を引き出せるようにする。
算数	<p>△問題文を読んで、どういう場面なのか、何を答えなければいけないのか理解できない児童が多い。</p> <p>△筆算の足し算や引き算、かけ算やわり算など、基本的な計算が身に付いていない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や ICT 機器の活用により問題場面を分かりやすく提示し、視覚的に訴えたり、実際の生活の中で経験したことと結び付けたりして、児童の理解をはかる。 ・問題場面をテープ図や4マス表に示し、立式しやすくする。 ・学習の最後に、練習問題を解く時間を設け、基礎学力の向上を図る。
理科	<p>△前に学習した内容や事象と比較したり、関連付けたりして実験の予想や方法を考えることが難しい。</p> <p>△すすんで実験や観察を行うことができるが、その結果を正確に記録することが難しい児童がいる。</p> <p>△既習事項をもとに、考察を行うことが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器や具体物を活用し、既習事項や考え方を思い出しやすくする。 ・今学習している内容と以前学習した内容のつながりを意識できるような単元の導入をする。 ・あらかじめ実験や観察の視点を焦点化して示し、友達と関わりながら実験、観察、記録する時間を十分に設ける。
音楽	<p>△音符や音楽記号を理解して、演奏に生かすことが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の鑑賞や音楽づくりを通し、音楽を形づくっている要素の効果についてカードや視聴覚教材などを用い、体験的に感じられるようにする。
図工	<p>△材料からイメージを広げていくことに苦手意識がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・針金を用いて、材料の持つ面白さを試しながらそれぞれのイメージする力を高める。児童同士で発想したことを大型テレビで共有させることで表現を深める。
体育	<p>△体を動かすことが好きな児童は多いが、単元によっては苦手意識をもち、積極的に取り組むことができない児童もいる。</p> <p>△運動のポイントが分からず、苦手意識をもっている児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じた課題を設定し、練習することが楽しいと思えるような場の工夫をする。 ・映像資料や図解資料を使い、ポイントをつかみやすいようにする。また、小集団による見合いにより友達同士でポイントを伝えられるよう学習過程を工夫する。
家庭科	<p>△裁縫の細かい作業が苦手な児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導ができるように、個々の児童の実態を把握し、段階的な指導をする。
外国語	<p>△教師の英語での発問に、他の児童の前で一人で答えることに苦手意識をもつ児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアから始め、簡単な会話から、相手に自分の思いが伝わる楽しさを感じる経験をさせる。